

エフエムふじごこ 第38回番組審議委員会議事録

1. 開催日時 令和7年10月28日（火曜日） 18：00～19：00

2. 開催場所 （株）CATV 富士五湖 2F会議室

3. 委員出席 番組審議委員総数 12名 出席委員数 9名

出席委員の氏名 半田初幸、飯島武、荒井由香利、赤尾緑、勝俣美季

宮下敦、後藤真一、赤池優樹、白須一政

欠席委員の氏名 小野政秋、小俣厚、小澤輝展

放送事業者側出席者名 武川以爾身、武川哲也、萱沼幾男、後藤健

4. 議題 7月からの新番組実施報告

5. 議事概要 7月からの新番組について

6. 審議内容 「7月からの新番組」について

1. 新番組『SCHOOL OF HOKROCK』

放送開始：2025年7月

放送日時：毎週火曜日 20:00～／毎週金曜日 18:00～

番組概要：『SCHOOL OF HOKROCK』は、富士北麓エリアの若者が出演し、日常や地域への想いを自分たちの言葉で発信する、前向きなエネルギーを届ける青春応援ラジオ番組です。

2. 新番組『かえるの学校』

放送開始：2025年7月

放送日時：毎週火曜日 20:30～／毎週木曜日 18:00～

番組概要：『かえるの学校』は、月替わりのゲスト講師が日常の疑問や地域の魅力を楽しく解説する、世代を問わず学びと気づきを届ける教育バラエティ番組です。

ゲスト

7月 富士吉田市の文化・歴史 富士吉田市歴史文化課 篠原武さん

8月 吉田の火祭り 世話人相談役 坂田睦夫さん

9月 地域の防災・防災の日について 富士吉田市防災官 守山龍一さん

10月 ハタオリマチフェスティバルについて 運営責任者の一人、土屋誠さん

11月 郡内織物について 山梨県産業技術センターの五十嵐哲也さん

7. 番組審議委員からの意見

- ①若者主体の番組と教育バラエティ番組を同時に立ち上げる点に、放送局としての将来を見据えた姿勢が感じられる。
- ②『SCHOOL OF HOKROCK』は、地元の若者が自分の言葉で語る構成が新鮮で、地域密着型放送として評価できる。
- ③青春応援というテーマが明確で、同世代のリスナーだけでなく親など大人世代にも共感を呼ぶ可能性がある。
- ④出演者が若者中心となるため、編集や進行面で放送品質をどう確保するかが今後の課題と感じられる。
- ⑤『かえるの学校』は、月替わりのゲスト設定が明確で、計画性のある番組構成になっている点が好印象である。
- ⑥両番組とも「かえる舎」との連携が明確で、地域団体と協力した持続可能な番組制作体制が評価できる。
- ⑦新番組を通じて若者育成・地域理解・学びの場の提供という三つの要素がバランス良く盛り込まれており、今後の反響に期待したい。

8. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容

④に対して

出演者が若者中心となる点については、制作協力団体である「かえる舎」の大人2名が番組に参加し、進行および内容面で適切なフォローを行う体制を整えることで、放送品質の確保を図っている。

9. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 ①自社番組内において放送

②事務所への備置き

③自社ホームページへの掲載 (<https://www.fm2255.jp/>)

公表の内容 番組審議委員会翌日の自社番組内において、ニュース形式で開催と簡単な内容を伝え、詳細な内容についてはホームページへの掲載を告知した
以上